

# 港北ラウンジニューズ そよ風

2013年  
4-6月号  
No. 86

横浜市港北国際交流ラウンジ KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE



## 新委員長としての抱負

運営委員長 山本 藤太郎

平成25年度も運営委員長として、港北国際交流ラウンジの運営と発展の為に尽力する事となりました。平成19年4月からの5年間、委員長として頑張ってきましたが、今年度も引き続きよろしくお願いたします。

近年横浜市の国際化は著しく、外国人居住者の数は約78000人、そのうち港北区内の外国人数は約5200人です。現在、横浜市内には横浜市国際交流協会を中心にして10カ所に国際交流ラウンジが設置されていて、日々外国人との親睦・交流がさかんになってきています。

当ラウンジは平成12年9月にオープンし、今年で満13年になります。来館者は年々増え続け、2010年度は30,058人(内外国人10,999人)、2011年度は27,496人(内外国人8,354人)、今年度は2月末で既に昨年度数を超過しており、29,823人(内外国人9,879人)です。

当ラウンジの特徴としては、現在「日本語教室」が8クラスあり、本人のレベルに応じたマンツーマンによる丁寧な授業をしています。日本語がわからない子どもたちには、ひらがな、かたかな、会話を教え、学校の勉強をサポートする「ニューカマー子ども教室」があります。また、日本の伝統文化を学ぶ「茶道」「華道」「書道」の教室もあります。

また地域との結び付きを大切にしており、港北区役所および地元町内会や諸団体との共催によるイベントなどにも力を入れています。また、近隣の任意団体(現在22団体)にも部屋を利用いただき、施設の利用率は80%を超えています。

このほかにも様々な国際色豊かなイベントを主催し、イベントを通して地域住民の方との交流に力を注いでいます。

これら催しは約240名からなるボランティアの皆さんの協力によって運営されているものです。今年度も一生懸命頑張りますので、よろしくお願いたします。

### 来館者数の推移

	2010年度	2011年度	2012年度
総数	30058人	27496人	29823人
外国人数	10999人	8354人	9879人

(2013年2月現在)

◆当ラウンジでは定期的に、地域住民に向けて「国際理解教室」を開催しております。1月27日(日)今年初めての国際理解教室が「私の知っているシルクロード」というテーマで開催されました。窓外国人スタッフの王慶紅さんが講師をつとめました。その概要をここにご紹介します。

## 私の知っているシルクロード！ 丝绸之路！

王 慶紅

日本人の胸に夢とロマンをかき立てる魅惑のシルクロードには二千年余りの歴史があり、東の長安(今の西安)から西のローマまでで全長七千キロ余りにもなり、その約半分が中国領内にあります。このシルクロード(絹の道)という名前は、中国産の絹が遠くインドや西アジア、さらにローマ帝国にもたらされたことに由来しています。



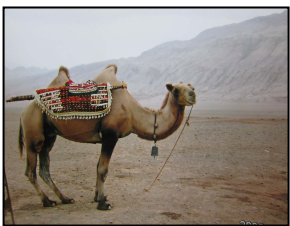
シルクロードの始まりは紀元前に遡ります。漢の時代で武帝皇帝は建国当初より脅威となっていた北方の遊牧民匈奴に対抗するため、紀元前139年に張騫という人物を西方の月氏のもとに派遣します。張騫は、10年以上も苦難の旅を続けたものの、結局月氏との同盟交渉は失敗に終わりました。しかし、西方の文明的な国々の存在は当時の漢の人々に大きな驚きを与え、以後、国家的な規模で中国と西方世界との通交が開始されることになったのです。シルクロードに沿った東西の交通貿易も安定した繁栄と発展を遂げることとなりました。今日はシルクロードの起点と言われている、そして私の人生の起点でもある西安、美しい莫高窟のある敦煌、異国情緒溢れる私の故郷、新疆について紹介させていただきます。

西安は中国陝西省の県庁所在地です。西安市は古くは長安と呼ばれ、中国七大古都の一つであります。地理と自然条件に恵まれており、歴史的にもかつて13の王朝がここに都をおいたため、貴重な歴史的文化的遺産が多くあります。「世界八大奇跡」と称される秦始皇帝陵と兵馬俑、名刹法門寺、西安碑林などです。



次は甘粛省です。甘粛省にある敦煌は古代シルクロードの要路です。紀元111年、漢の武帝がここに都を置いたことから始まりました。当時は沙州と呼ばれ、シルクロードの軍事的要衝の一つでした。漢民族はここから西を「西域」と呼んでいました。3.12万平方キロメートルに広がる敦煌は人口18万、河西通廊(または河西回廊)の西端に位置するオアシスの町です。敦煌の教は「大きな、煌は「盛ん」という意味です。敦煌にある莫高窟は1987年12月11日世界遺産に登録されました。古代シルクロードの交通の要所に位置したところから、貿易だけでなく宗教、文化及び知識が融合しあう合流地でもありました。莫高窟には大小492の石窟があり、壁画で世界的によく知られています。

最後は中国の最西端にある異国情緒溢れる新疆ウイグル自治区の紹介です。古くは「西域」と呼ばれた新疆は中国西北の辺境に位置し、アジアの内陸部へと伸び、面積約166万平方キロ、人口は2042万人です。新疆ウイグル自治区は中国で最も面積の大きな省クラスの行政区です。ウイグル族・漢族・カザフ族・回族など47の民族が住んでいます。温帯の大陸性乾燥気候に属し、高山や雪峰(雪の山々)に囲まれ、見渡す限りの砂漠、広々とした草原、数多くの盆地やオアシスがあります。毎年8、9月は、気候が涼しく爽やかで果物も完熟するため、絶好の観光シーズンです。新疆に入るとシルクロードは南・中・北の三つのルートに枝分かかれし、全長2000キロの沿線には漢代や唐代の古城など多くの遺跡が砂に埋もれ眠っています。区都はウルムチ。トルファン、カシュガル、庫車、和田などの重要な都市はみなこの古代シルクロードに沿ってあります。ウルムチは非常に乾燥しているの



ので飢は欠かせません。新疆は外国人と接する機会があまりないため英語も日本語も通じません。漢字での筆談だと通じます。旅先で出会うウイグル人は大体漢語が話せますが、一言でもウイグル語を話せば大歓迎してくれることでしょう。日本人だと分かると嬉しげに「バカヤロ」「ソニー」「サヨナラ」などと話しかけてくれます。意味が分かっているわけではありませんが、トルファンは新疆東部の山間の盆地にあります。中国で最も海拔の低いところ。盆地にあるアイデ

イン湖は海面より155メートルも低く、ヨルダンの死海に次ぐ世界第2の低地です。真夏になると最高気温は40度を超えるので古くから「火州」と呼ばれています。有名な観光スポットは高昌古城、交河古城、ベゼクリフ千仏洞などです。トルファンと言えば葡萄であり、ここを訪れる観光客は必ず葡萄溝とカレーズを楽しむこととなります。ウルムチからトルファンまでは182キロの距離で、一流の高速道路があります。何よりご自分の目で、ご自分の口で、ご自分の足で、見て食べて歩くのが一番感動できると思います。皆さん、是非一度素敵なおシルクロードの旅をしてくださいね。



◆日本語教室月曜クラスで学習支援をしている角田晶子さんが、ケニアでボランティア活動を行って来ました。その活動内容をご紹介します。

## 大好きなケニアでごはん作り

つのだあきこ  
角田晶子



昨年秋の35日間、ケニアで活動する日本人の方たちにごはん作りのお手伝いをしてまいりました。滞在したのはナイロビから北東へ車で約2時間、ケニア山を臨めるエンブという町です。中心部には食料品、衣類、日用雑貨、家電、文房具、おもちゃなどを売っている4~5階建てのスーパーが4軒、多くの商店と野菜・果物を扱う広い青空市場があり、活気に満ちています。その一角に約25年前から日本人家族が運営するNGOの施設があります。そこには医療・教育施設と、その生徒や職員の寄宿舎が併設されており、あたりには子供たちの元気な声が響いています。このNGOは周辺の小学校での緑化活動、ケニアでは全く定着していないゴミの収集・分別、ゴミからの堆肥作りの指導など、地域に根ざした様々な活動も行っています。



今回私はこれらの活動に携わる日本人ボランティアの方たちのためにごはんを作りました。資金がなるべく活動のほうに使えるようにごはんの材料を節約し、肉を使わないで「生姜焼き風」「酢豚風」「肉じゃが風」などを作りました。本当はお肉が食べたいはずの若いスタッフから「お肉を食べているような気がする！」と喜ばれた時は心の中でガッツポーズでした。ここではパスタが焼そばやラーメンに変身します。また大匙2杯だけの味噌と、入手しやすい中国製醤油で



13~4人分の味噌汁を作ったりと、驚くべき工夫がいっぱいです。ケニアの糠と野菜で「糠漬け」にも挑戦し、とても喜ばれました。このように日本人スタッフにごはんを作る事で、間接的に現地の人々の役に立てているのでは、という幸せな気分を味わうことができました。

また施設内の学生や先生たちと一緒に、現地にある食材や調理器具でお好み焼きや野菜のかき揚げなどを作り喜ばれました。そして「家族にも作ってみる！」と言われた時は、この味がその家族に代々伝わっていくのだなあという楽しい想像が膨らみました。

その他にも小学校の子供たちと折り紙や習字をしました。授業のなかには日本語の時間もあります。子供たちは目を輝かせて一生懸命授業を受けていました。その中で私が興味をひかれたのは、ひらがなを使わずローマ字で日本語の授業をしていたことです。授業のあと、ケニア人の日本語教師になぜローマ字なのかと伺ったところ、「ひらがなから勉強させていると、それだけで小学校の8年間が終わってしまうよ」と笑いながら答えてくださったのが印象的でした。

夕暮れ時、点在する家々にひとつずつ灯りがともるのを、ごはんを作りながら眺めるのが大好きです。ともった灯りの中で暮らす家族が幸せにごはんを囲んでいるようにと祈りながら。



また大好きなケニアへごはんを作りに行こうと思います。

## にほんごきょうしつ

午前教室 (10:00~12:00) ・ ・ 水曜日を除く各曜日

夜間教室 (18:30~20:30) ・ ・ 火曜日と木曜日

\*参加費: 100円/1回 回数分を一度に支払う

\*見学は無料です。ラウンジ受付までお申し出ください

\*保育あります (月曜、木曜午前教室)

\*日程につきましてラウンジまでお問い合わせください

4月7日から新学期がスタートします

## ニューカマー子どものきょうしつ

土曜日の午後、日本語を母国語としない小中学生の勉強を、お手伝いをしています

4月 6, 13, 20, 27日

5月 11, 18, 25日

6月 1, 8, 15, 22日

## 外国人ママ&パパの会

妊娠がわかってから出産、子育てに関する「どうしよう」をサポートする会です。近くで暮らしている外国人ママ、パパの参加を募っています。

5月27日、6月24日 10:30~12:00

\*予約不要 会費無料

## 国際理解教室

6月9日 (日) 10:30~12:00

<フィリピンの手遊びとおしゃべり>

お問い合わせ

## 横浜市港北国際交流ラウンジ

KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町316-1

Tel 045-430-5670 Fax 045-430-5671

E-mail kohokulounge@yokohama.nifty.jp

http://homepage2.nifty.com/kohokulounge

## モーニングコーヒー

外国の文化紹介や日本の伝統行事の紹介、コンサート、ダンスなどを月末の日曜日に企画しています。参加無料

当日直接ラウンジへ!

4/28 (日) 13:30~15:30

<アフリカと友だちになりましょう>

~アフリカ開発会議関連イベント~

西アフリカの音楽・ダンス・衣装体験をしましょう

5/26 (日) 13:30~15:30

<アフタヌーン・コンサート>

ヴァイオリンとピアノのアンサンブル

## 日本の伝統文化のクラス

参加希望者は事前にラウンジ受付にお申し出ください

\*茶道: 12:30 ~15:00

参加費 300円

4/4、5/2、6/6 (木)

\*要予約

\*華道: 13:00~15:00

参加費 500円

4/16、5/21、6/18 (火)

\*要予約

\*書道: 13:00~15:00

参加費 300円

4/11、5/9、6/13 (木)

●4月からの開館時間

月曜日~金曜日 9時~21時

土・日曜日 9時~17時

※8月は全日9時~17時

※休館日: 第3月曜日、土日を除く祝日、年末年始

外国語対応

英語 終日

タガログ語 火曜日 9時~13時

ハンガール語 木曜日 9時~13時

中国語 土曜日 9時~13時

スペイン語 第3、4土曜日 9時~13時

\*駐車場はありません

